

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	加須市			代表者名	角田 守良
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	DX推進課	連絡先電話番号	0480-62-1111
担当者役職	主事	担当者氏名	篠塚 涼太	連絡先E-mail	
住所	3478501 埼玉県加須市三俣二丁目1番地1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	書かない窓口導入事業
概要	書かない窓口の導入に向けたBPRの支援(座学、窓口体験調査、ワークショップ)		
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成)		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年7月11日	講演(実地)	14時00分	16時00分	
				活動時間(分)	120
2-2.	会場名	加須市役所	最寄駅	加須駅	
派遣場所	所在地	埼玉県加須市三俣二丁目1番地1	最寄駅からの交通手段	自家用車(深谷市から)	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	齋藤 理栄
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	座学により、書かない窓口の導入に向けた窓口BPRの取り組みについて、ご自身の経験や他団体の事例から、窓口BPRの手法や考え方を分かりやすく説明していただいたため。
アドバイザーへの要望事項	引き続き、窓口体験調査やワークショップについてもご支援をよろしくお願い致します。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	33人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	33	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	令和7年度の書かない窓口の導入に向け、庁内検討委員会及び検討部会による窓口の現状等の整理を実施しているが、今後窓口BPRを実施していくうえで、職員の機運醸成や窓口体験調査等の実施にあたり、具体的な手法について十分に整理ができていない。
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	窓口体験調査やワークショップによる窓口BPRを通して、アナログ改革とともに当市に最適な書かない窓口の導入を目指す。また、窓口BPRの手法を学ぶことで、自走化を目指したい。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	座学では、窓口BPRはシステムの導入よりもアナログ面での見直しが重要になるということ、窓口改革は市民だけではなく、職員も対象ということ等、さまざまな事例や体験談から分かりやすく説明していただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	窓口体験調査の方法について、他団体の事例を動画で説明していただけたため、具体的なイメージをつけることができた。 また、アナログ改革の重要性を説明していただいたことから、職員の機運醸成を図れ、これまでアナログ改革に対して否定的な職員もアナログ改革の重要性について認知することができ、今後の窓口体験調査に向けて積極的な協力が期待できる。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	【持ち越しとなった内容】 座学により窓口BPRの手法等について学ぶことができたが、その内容を2回目の支援で行う窓口体験調査等で実践し、アナログ改革に加えて、最適な書かない窓口の導入が最終目標となるため。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今後実施する体験調査やワークショップにより、当該取組の分析等を行うため。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
4-4. 事業の最終的な目指す姿	令和7年度末までの書かない窓口の導入により、窓口における市民の「書かない」、「書かせない」や「待たない」、「待たせない」を実現し、市民が感じる負担や不満を減らし、市民の利便性向上と市民サービス満足度の向上を目指したい。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可

掲載可

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

